



社会に貢献できるリーダーを目指す

SOCIAL ACTION PROGRAM

福岡県立大学における 初年次から取り組むインターンシップ

福岡県立大学 就業力向上支援室 代表 石崎龍二

平成26年度 インターンシップ等実務者研修会 九州地区
7月28日(月) 九州大学医学部 百年講堂

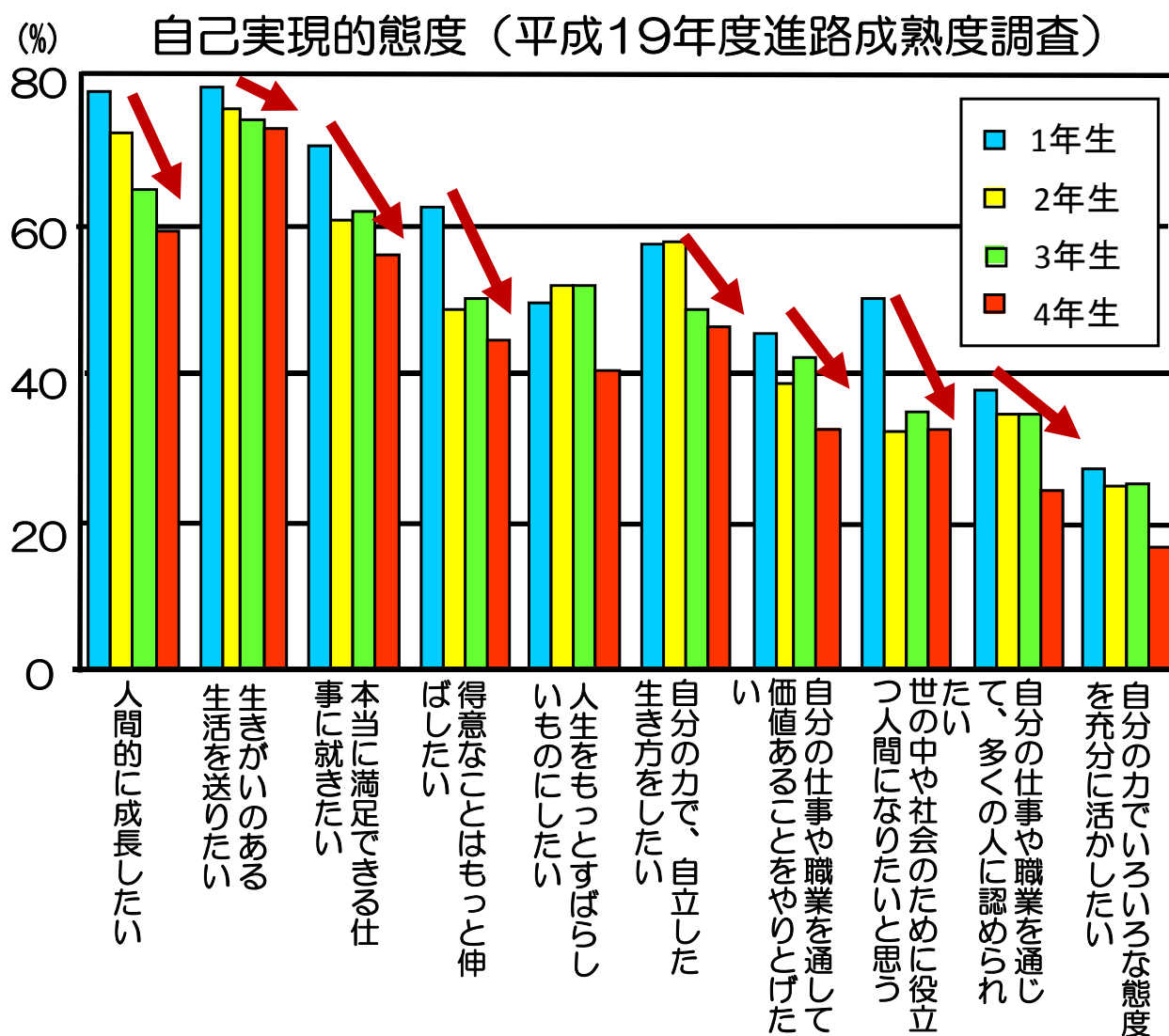
福岡県立大学における インターンシップの取組

- 初年次から取り組むインターンシップ
 - プレ・インターンシップの単位化
 - プレ・インターンシップの学修評価へのルーブリック導入
- 4年間を通じたキャリア形成支援

福岡県立大学 学部・学科



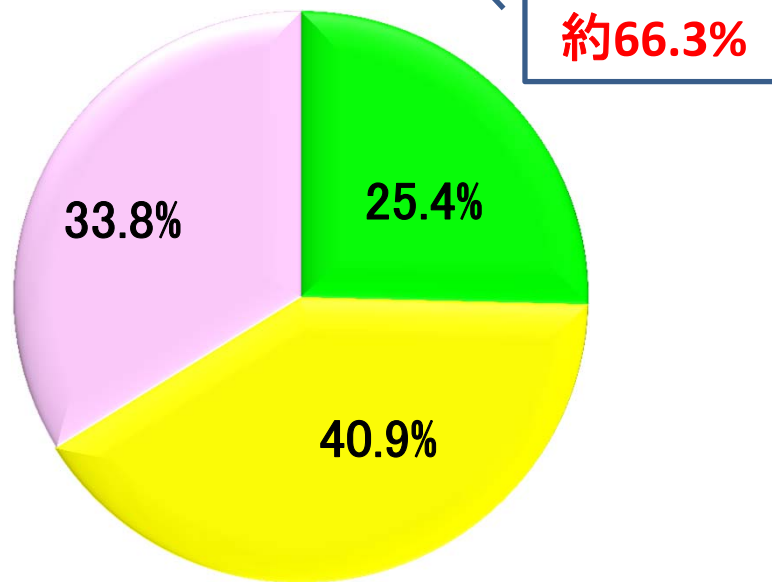
福岡県立大学学生の自己実現的態度



入学時には「人間的に成長したい」「生きがいのある生活を送りたい」「本当に満足できる仕事に就きたい」という学生が多くを占めている。1年次には高いこれらの思いが学年を経るに従い、だんだん低下している。

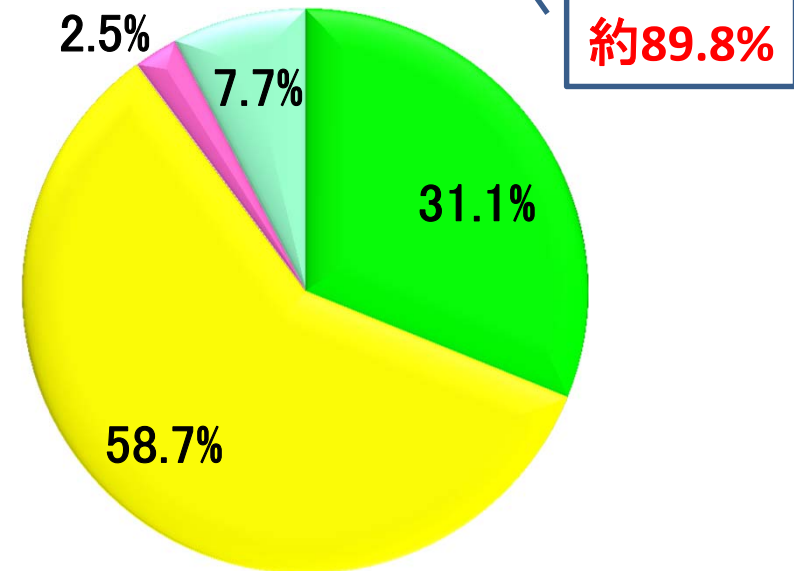
福岡県立大学生のボランティア活動の実態調査

ボランティア活動の経験



- 現在している
- 現在はしていないが、以前(過去に)したことがある
- 全くしたことがない

ボランティア活動への参加意欲



- 参加したい
- 機会があれば参加したい
- 参加したくない
- わからない

ボランティア経験者が多く、ボランティア活動への意欲も高い。

田川元気再生プロジェクト「大学生ボランティア活動に関する実態調査」(平成20年11月実施全学生対象)

全学生 回収率71.1%

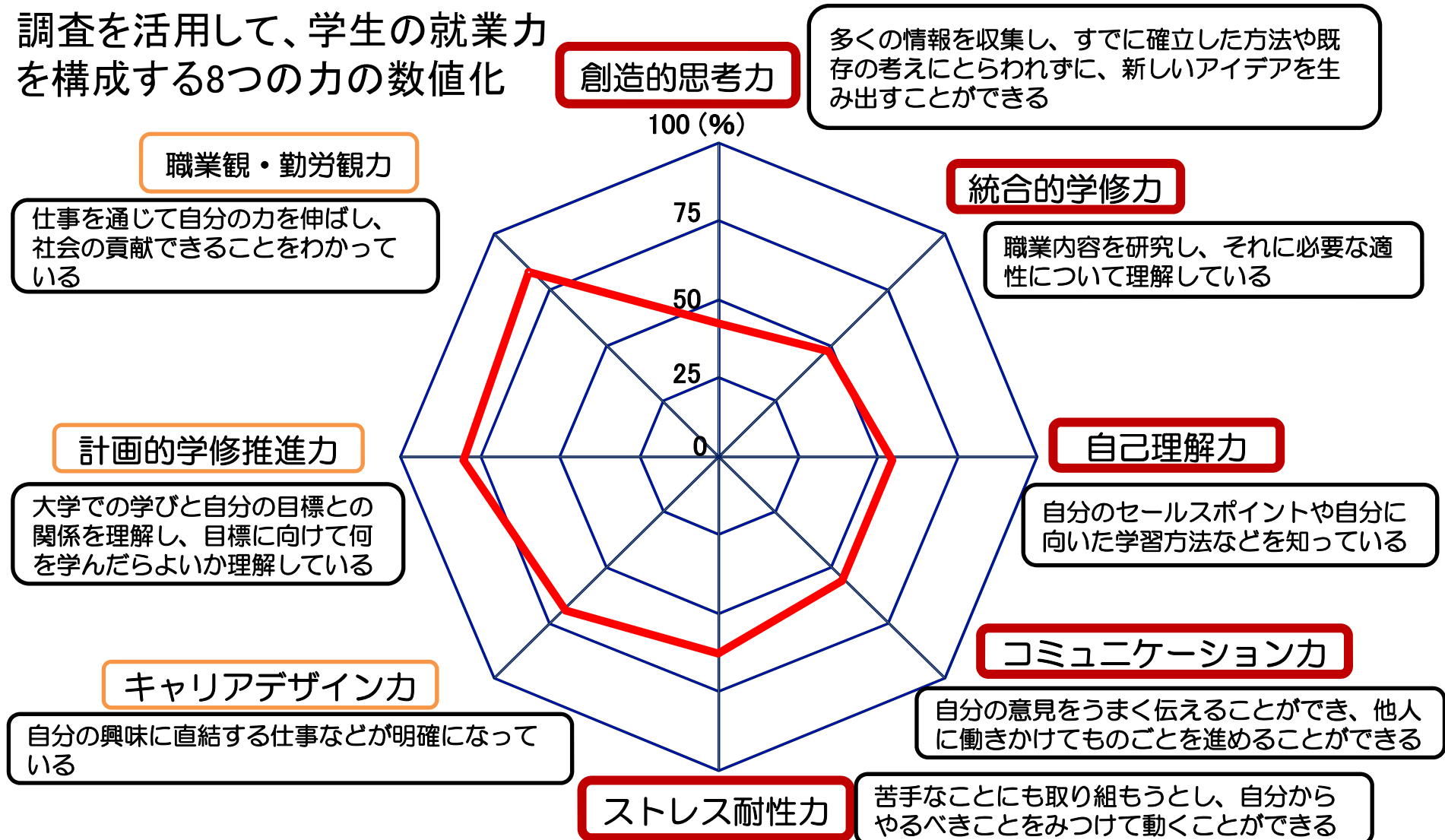
福岡県立大学生のボランティア活動実態調査 活動に参加して「良かった」と感じたこと

- 地域のために役だった
- 楽しかった
- 困っている人のために役にたった
- 相手から感謝された
- 人間性が豊かになった
- 思いやりの心が深まった
- 生活に充実感ができた
- 友人や知人を得ることができた
- 知識や技能が身についた
- ものの見方、考え方が広がった
- 学校で評価された
- 福祉など社会の課題に対する理解が深まった

こうしたボランティア活動経験から得られたことが、就職活動時のエントリーシートにあまり活用されていない。

就業力を構成する8つの力

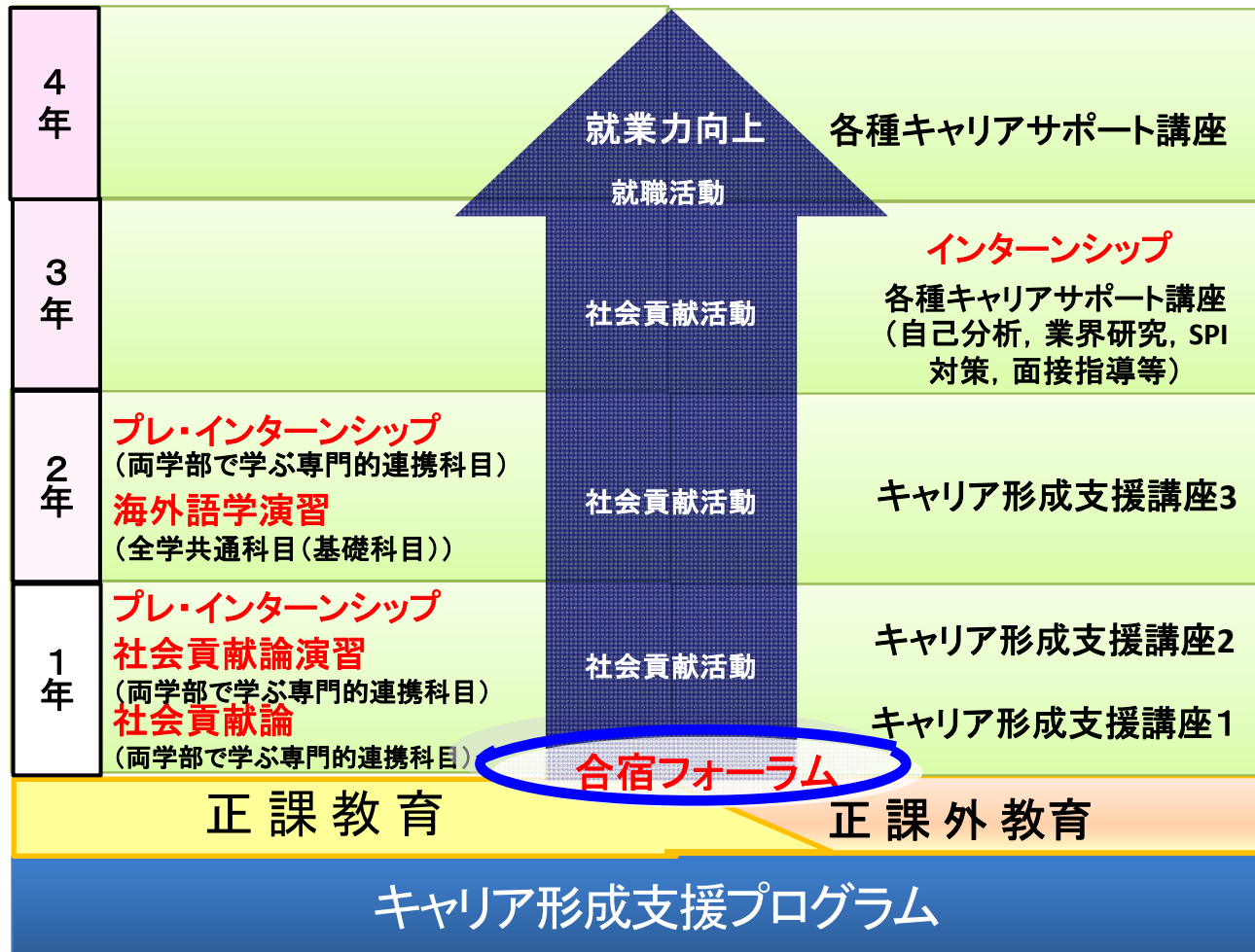
ベネッセが実施したアンケート調査を活用して、学生の就業力を構成する8つの力の数値化



就業力向上を目指す教育プログラム

- 「創造的思考力」「統合的学修力」「自己理解力」「コミュニケーション力」「ストレス耐性力」の5つ力が弱いことがわかった。
- これらの力を育成することを強化するために、両学部で学ぶ専門的連携科目として「社会貢献論」「社会貢献論演習」「海外語学実習」（以上、平成22年度より単位化）「プレ・インターンシップ」（平成25年度より単位化）等を位置づけた。
- これらの学修における成果の発表、準備や振り返り等の活動から就業力を構成する8つの力の向上を図る。

就業力向上を目指す キャリア形成支援プログラム

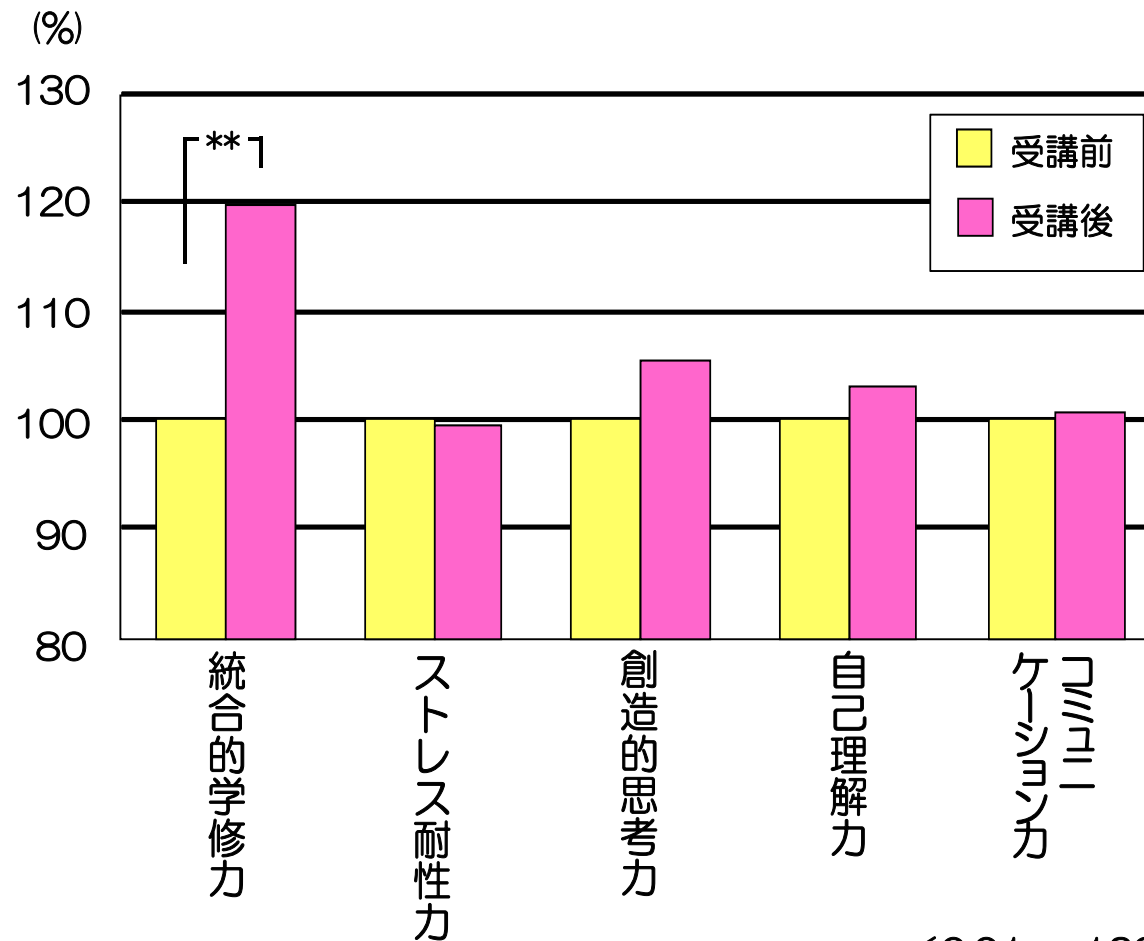


キャリア形成支援プログラム 実施体制

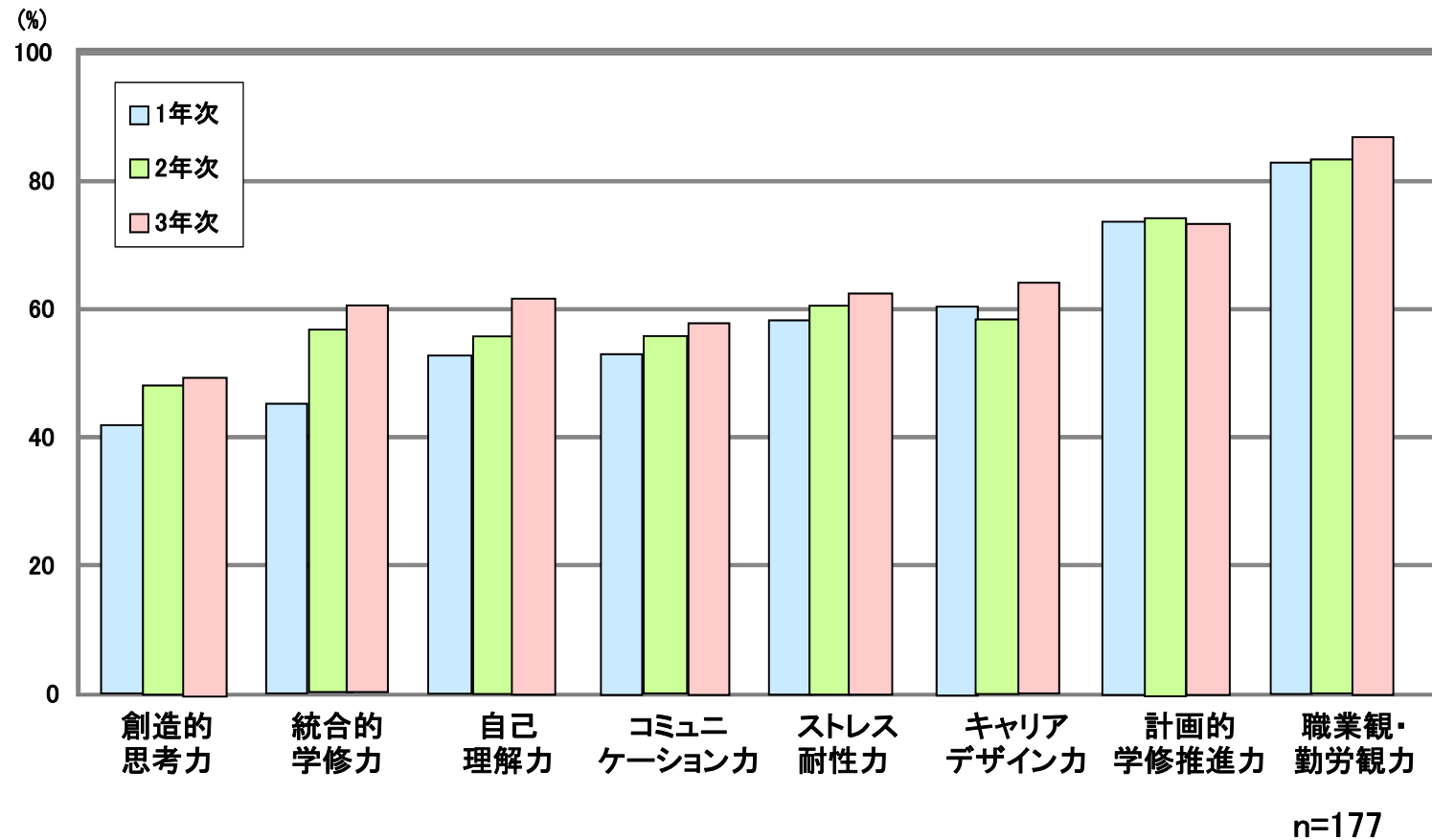
支援組織	教員	常勤職員	非常勤職員	主な支援内容
学生支援班 (就職支援担当) キャリアサポートセンター	0名	2名	キャリアサポートセンター事務 1名 就職相談員 4名	就職支援 (就職対策講座・ 公務員対策講座・ 就職相談) インターンシップ
就業力向上支援室	1名	0名	学生指導 3名 受入先開拓 1名 事務 1名 外部講師 1名	プレ・インターン シップ 系統的キャリア形 成支援講座
社会貢献・ ボランティア 支援センター	1名	0名	ボランティアコー ディネータ 2名	学生の社会貢献・ ボランティア活動 支援

就業力を構成する5つの力

平成23年度「社会貢献論」受講前後



就業力を構成する8つの力の推移 (平成24年度3年次生)



初年次からの段階的なインターンシップ

大学の中で学ぶことができない就業体験を1年生という早期から行うことが大切であると考え、「プレ・インターンシップ」を導入した(平成23年度より)。

プレ・インターンシップ (1年次)

プレ・インターンシップ (2年次)

インターンシップ (3年次)



プレ・インターンシップの目的

- 1年生という早期から、多様な社会の仕組みや人と人との繋がりを学ぶ。
- 医療・福祉施設、企業、教育機関、自治体、NPOなどでの就業体験を通して、働くことの意義について理解を深める。
- 就業体験(プレ・インターンシップ)を通して、多様な価値観を持った社会人と出会い、自己理解や他者理解を深める。
- マイキャリアポケットを活用し、体験の振り返りを行うことで、学生自身がさらなる成長を目指した学習計画の立案に取り組む(学習意欲喚起型インターンシップ)。